

レジメンスケジュール

診療科	消化器外科
適応	胃癌
レジメン	胃mFOLFOX6療法

申請・改訂日	2022年2月
備考	1st line

クール関連

使用した臨床データ
がん化学療法レジメンハンドブック

全クール																					
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	day14		
①		デキサメタゾン注	9.9mg	CVポート	15分		○												終了		
①		パロノセトロン注	0.75mg				○														
①		生理食塩液	100mL				○														
②		レボホリナート	200mg/m2	CVポート	120分		○														
		5%ブドウ糖液	250mL																		
②	○	オキサリプラチン	85mg/m2	CVポート	120分	④同時に開始	○														
		5%ブドウ糖液	250mL																		
③	○	5-FU	400mg/m2	CVポート	全開		○														
		生理食塩液	50mL																		
④	○	5-FU	2400mg/m2	インヒューサーポンプLV5	46時間	※総液量を224-226mLとする	○	○	○												
		生理食塩液	※																		
⑤		デキサメタゾン	8mg	内服		オプション		○	○												

投与量	オキサリプラチン	5FUBolus	5FU持続
開始用量	85mg/m2	400mg/m2	2400mg/m2
1段階減量	65mg/m2	300mg/m2	2000mg/m2
2段階減量	50mg/m2	200mg/m2	1600mg/m2

投与開始基準

投与可能条件	好中球1500/mm ³ 以上、血小板75000/mm ³ 以上であれば、2コース目以降の投与可能
--------	---

減量・中止基準

5FU

副作用	程度	処置
肝機能障害	T-Bilが5mg/dL以上	投与中止
すべての抗がん剤		
副作用	程度	処置
好中球減少	500/mm ³ 未満	休薬、次回ともに1段階減量
FN	発現時	休薬、次回ともに1段階減量
血小板減少	50000/mm ³ 未満	休薬、次回ともに1段階減量
その他末梢性間隔ニューロパチーを除く有害事象	G3以上	休薬、次回20%減量を検討
過敏症状	発現時	投与中止
オキサリプラチン		
副作用	程度	処置
末梢性間隔ニューロパチー	G3以上またはG2が次コース開始時まで持続	休薬、次回ともに1段階減量